



山を動かす復興住宅

「ふくしまの家」復興住宅供給システムプロポーザルの取り組み

IORI倶楽部



会津地域の

山を活かす

森林保全
地域材活用
(長尺大断面スギ材)
奥会津の広葉樹活用



地域総ぐるみで

住まいを創りをサポート

地域内循環
雇用の創出
職人の技・文化の伝承

奥会津IORI倶楽部
2010年に結成



従来の住宅産業とは
一線を画した家づくり



木造仮設住宅
プロジェクト

只見川流域の木材の特徴



- ・樹齢 60年～80年 のスギ材が豊富

↓
長尺大断面材がとりやすい。

- ・桐、栗、栃、くるみなどの広葉樹が豊富

↓
建築材に活用

- ・手入れがされていないため節が多い。

↓
値が安い

奥会津には豊富な森林資源があるが
活用されず価格も低迷

コンセプトハウス つるのIORI

地域材木造住宅振興事

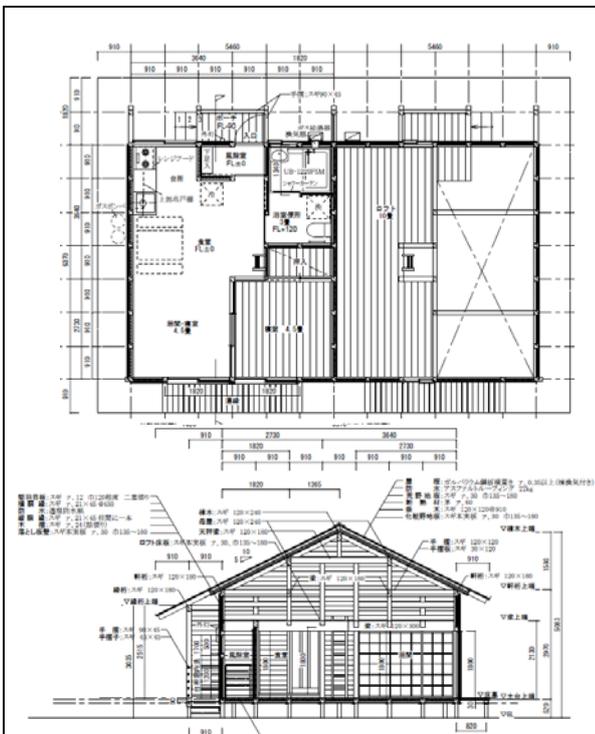


地元の材料をフルに活用し
適材適所に材料をつかう

・スギの大断面の構造材
・広葉樹による造作材



■ いわき高久地区	76棟162世帯	：	東日本大震災	(2011年6月着工)	合計 97棟 206世帯
■ 会津城北地区	17+1 棟36世帯	：	東日本大震災	(2011年7月着工)	
■ 奥会津3地区	3棟8世帯	：	豪雨災害	(2011年10月着工)	



木造仮設住宅の標準的な図面 戸当たり10.5坪 (2DK 30平米タイプ)

各戸 坪あたり 約 2m^3 の木材使用量 (構造材・基礎杭・内外部造作材含む)



2DK内観写真（リビングから台所を眺める）



ロフト部 写真



建具 写真



浴室部 写真

木造応急仮設住宅 内観 写真（30平米タイプ）

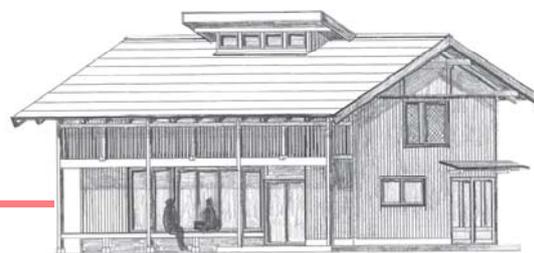
ふくしまの森林資源とグリーンエネルギーに包まれた シンプルな暮らしと丁寧な住まいづくりの実践



ふくしまの森林

結ぶ
応援

復興住宅モデル



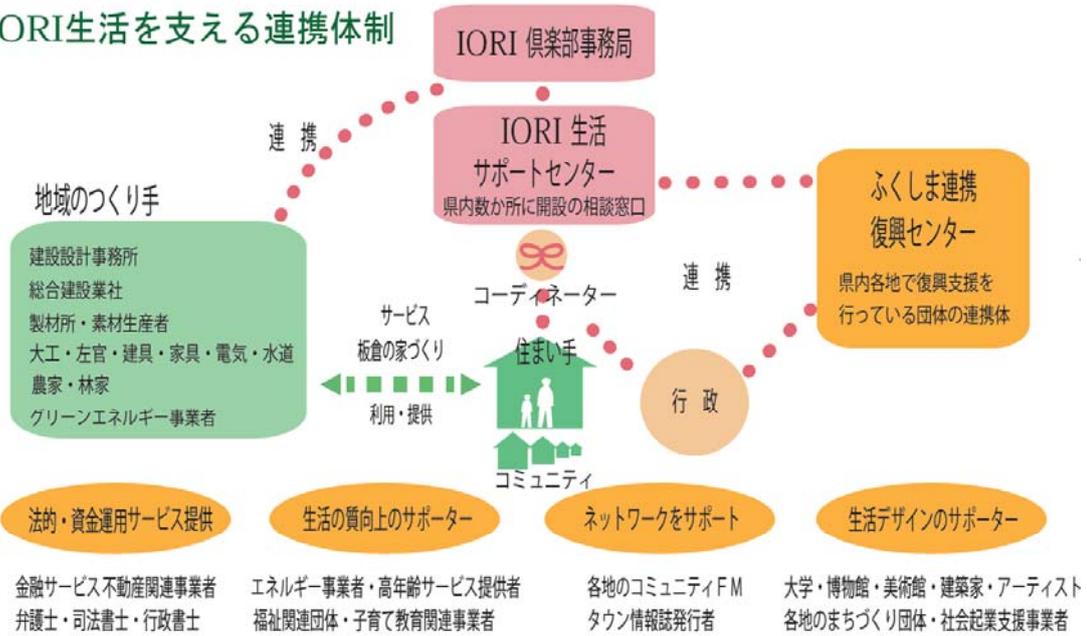
2階建 29坪（96.05㎡）

建築工事費 1500万円

復興住宅の提案

IORI倶楽部が結ぶ「ふくしまIORI生活」と「板倉の家」

■ IORI生活を支える連携体制



広範な分野・多様な役割を担う専門家との連携

■ IORI生活実現のための3つのステージ

ステージ1
ライフスタイル
デザイン

新しい生活のための場を探し、その地の歴史や伝統に学びながら、個々のライフスタイルをデザインすることで将来の展望を開きます。

ステージ2
住まいの施工

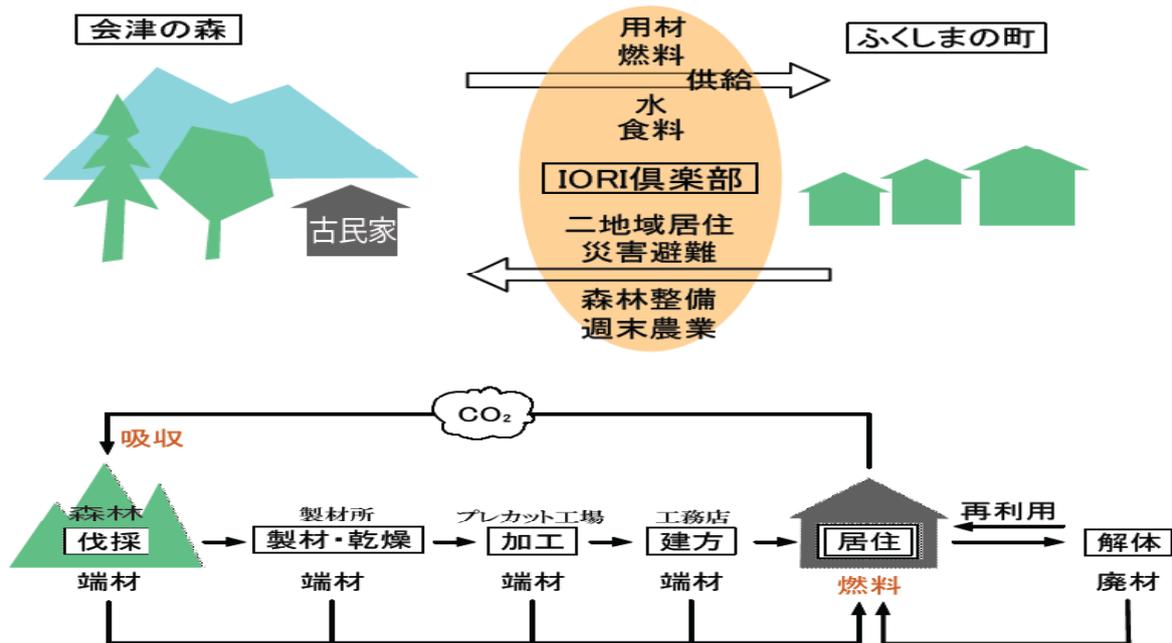
地域に根差した素材や技術に熟達した職人の手によって、自己実現のための住まい「板倉の家」を創ります。

ステージ3
IORI生活

暮らしを支えるための様々な課題に、サポーターとつながりながら取り組み、ふくしまIORI生活の実現を図ります。

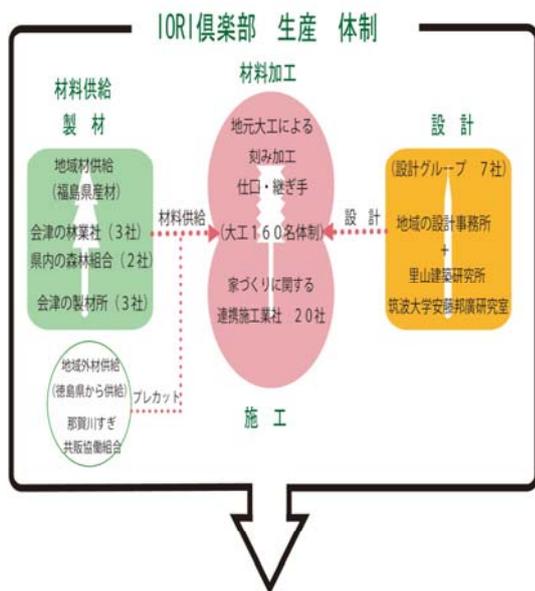


ライフスタイルデザインから生活サポートまで トータルに行う長期的な取り組み



山と森林資源を活かした住まいづくり

(バイオマス・グリーンエネルギーの積極的な活用)



住まい手へサービス提供

加工体制

県内産材の積極的利用

県外産材の応援



地元大工による刻み加工

+



長ホゾ高度プレカット加工



IORI倶楽部の生産体制を支える職人たち

地域材＋地元の職人による生産体制



120mmの柱に溝が掘られ板が落とし込まれる



厚さ30mmの杉板を落とし込んだ様子

■ 地域材の利用・木材の需要喚起

建物を構成する構造材および内外装の造作材を地域の木材をによってすべて賄える

■ 防火・耐震構造 移築可能

板倉構法は現代の耐震基準、防火基準を満たす構造として、国土交通大臣認定を取得
伝統的な職人の技である継手仕口を採用することで、技術の伝承と移築が容易に行える。

■ 環境に配慮

自然素材の使用を心掛けることで、環境に負荷をかけない家づくり。

■ 木の性質を活かした良好な室内環境

スギ無垢材の落とし板が構造材と仕上げ材を兼ねることで、木のぬくもりをふんだんに
体感できる室内が創られる

木が本来持っている調湿性・断熱性を活かし、冬暖かく、夏涼しい室内環境が造られる

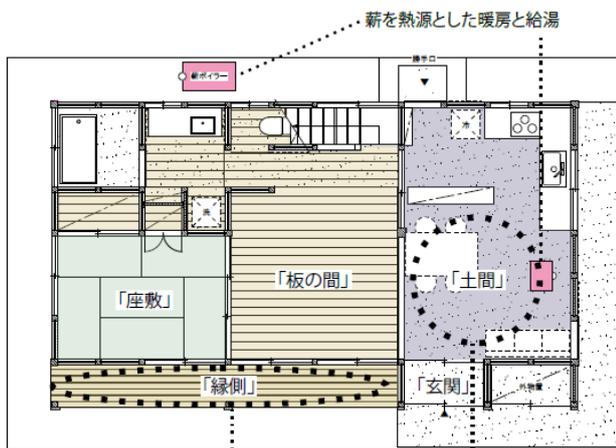
■ ストックの活用 → 新たなストックの生産

戦後植林され、現在日本に最も豊富にある資源である杉を用いる

↓
良質で長期にわたり使用可能な住宅の生産



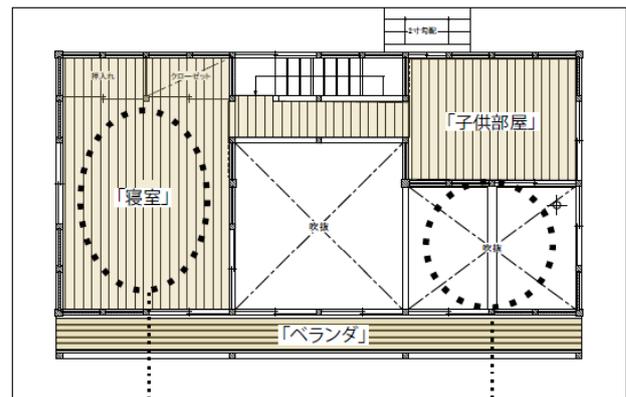
スギ落とし板を活用した板倉構法による住まいづくり



縁側でお茶と日向ぼっこ

ストーブを囲む土間で
御近所付き合い

1階平面図 (18坪)



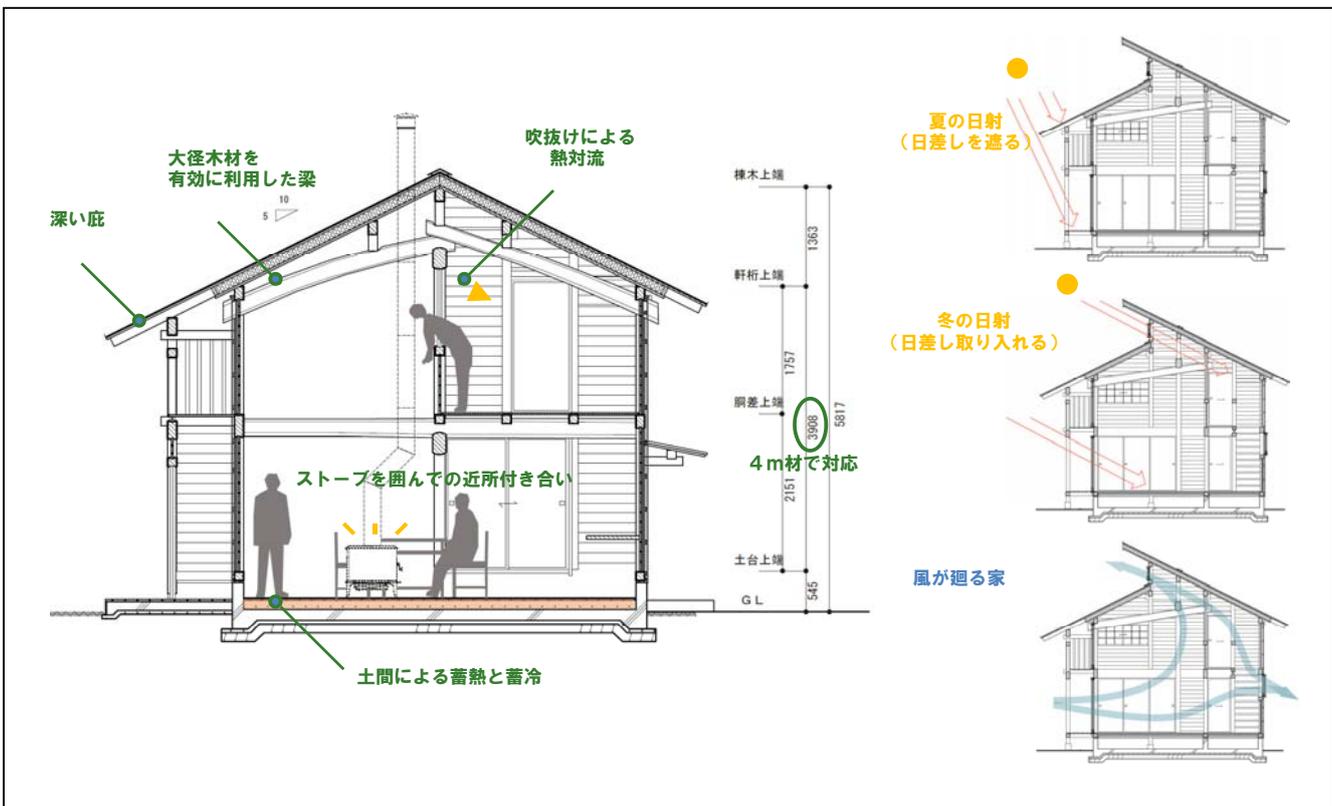
屋根裏を利用した落ち着いた寝室

吹き抜けは将来の増築スペース

2階平面図 (11坪)

日本の伝統的な民家の「土間」「板の間」「座敷」を取り入れる

会津の民家に習った、明快な構造とシンプルな間取り



スギ長尺大断面材を活かした木組みの住まいづくり
 太陽エネルギーと風を利用したパッシブデザイン



ふくしまの山力が復興のエンジンとなる



会津の山から ふくしまの復興へ